



SDGsって知ってる? 7/9



未来のために楽しく学ぶ



1

SDGsについて楽しみながら学ぶ「SDGsって知ってる?」が子ども館で開かれました。子どもたちは「1年間に海に流れ出るプラスチックの量」などのSDGsに関するクイズに挑戦。楽しみながら学んだ後は、電気がなくても涼になれるアイテムとして、うちわの模様付けを行いました。古布を丸めたたんぽに絵の具を染み込ませ、葉や野菜の切れ端の形を型押しして、オリジナルの作品を完成させました。

1たんぽを使って色を付ける 21番だと思う人 3作品作りに没頭 4お気に入りの作品と



2



3



4

暮らしを彩る器づくり 6/28



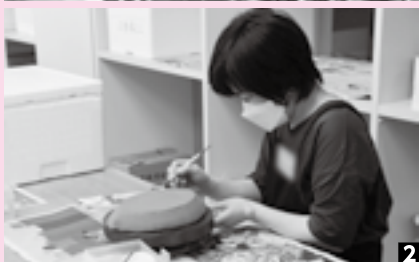
個性豊かな作品を



1

陶芸の楽しさを知ってもらおうと「暮らしを彩る器づくり」が三里塚コミュニティセンターで開かれました。全4回のうち2回目この日は、初回に粘土を押し伸ばして成形した器の厚みの調整と模様入れに挑戦。「厚すぎると焼き上げた後に割れてしまうので薄くする」といったポイントを意識しながら、へらなどを使って作業をしました。作業を終えた参加者は「器の完成が楽しみ」と話していました。

1講師のアドバイスを聞きながら 2へらを使って慎重に削る 3器の底に名入れをする 4個性が光る作品が



2



3



4

成田市とつながろう

市では、イベント情報や緊急情報など、皆さんの役に立つさまざまな情報をSNSで配信しています。



成田市LINE



成田市広報課Facebook



成田市広報課Instagram

#なりたさんぽ

成田祇園祭 7/7~9



活気あふれる3日間



1

成田の夏の一大イベント「成田祇園祭」が成田山新勝寺や表参道を中心に開催されました。4年ぶりに全町が参加しての開催となった今回。新勝寺大本堂前での圧巻の総踊りをはじめ、仲町の坂を山車・屋台が勢いよく駆け上がる総引きなどの迫力に、市内外から訪れた見物客は大盛り上がり。暑さを吹き飛ばす活気で、成田のまちは祭り一色に染まりました。

1総踊りを披露2掛け声を合わせて3祭りの始まりを祝って4仲町の坂を駆け上がる



2



3



4

成田祇園祭特別講演会 7/8



祭りの歴史や見どころを語る

約300年の歴史を持つ成田祇園祭をより楽しんでもらおうと「成田祇園祭特別講演会」が、なごみの米屋 スカイツタウンホールで開催されました。講師は、子どもの頃から祭りに親しんでいる関根副市長。成田祇園祭の起源や、長い歴史の中で移り変わってきた様子などを解説しました。質問コーナーでは多くの質問が寄せられるなど、参加者は興味津々の様子で聴き入っていました。



山車運行の様子を当時の写真を使って解説

サンブルーノ市行政訪問団表敬訪問 7/7



4年ぶりの来成で友好を深める

姉妹都市である米国・サンブルーノ市から、リコ E・メディナ市長ら4人の行政訪問団が本市を訪れました。サンブルーノ市と本市は、共に国際空港を持つことから交流が始まり、平成2年に「姉妹都市宣言書」に調印。コロナ禍を乗り越えて、4年ぶりに対面で交流を深めた訪問団は、市役所で歓迎を受けた後、成田祇園祭で山車の曳き廻しに参加し、日本文化に親しんでいました。



互いの記念品を手に

※マークが付いたイベントは、Facebookでも配信しています。